

# 市民の皆さんも一緒に考えていきましょう。

## 今後の対応について

熊本地震を経験した本市は、またいつ起こるかわからない大地震に対して万全に備える必要があります。仮に、防災拠点である本庁舎が使用不能となった場合は、災害対策本部として十分機能しなくなり、災害復旧や被災者支援などに重大な支障を来すため、本庁舎の問題について迅速に対応しなければなりません。耐震補強の工事は実現困難であることから、建替えを前提に検討を進めていきたいと考えています。



## 予算について

仮に大規模改修を行う場合には約200億円、本庁舎を建替える場合には、執務室不足の解消も含めて、約300～400億円程度かかるという試算が出ています。詳細な事業費については、今後、財政負担軽減につながる整備手法(民間との連携を含む)や国の財政的な支援などを検討したうえで改めてお示します。



## 市民はどう関わるの?

6月～7月にまちづくりセンターで開催する説明会や、ホームページ等を通じて、あらゆる情報を広く公開するとともに、市民の皆さんへ丁寧に説明を行っていきます。また、アンケート調査、パブリックコメント等により、皆さんのご意見を伺いながら、慎重かつスピーディーに検討を進めていきたいと考えています。



下記のとおり、本庁舎の現在の状況等について市民説明会を開催します。皆さん、ぜひご参加ください。

区名	まちづくりセンター名	日程	開始時間	会場
中央区	中央区	7月 8日(月)	午後7時	ウエルパルクまもと1階大会議室 ※駐車場に限りがあるため、公共交通機関の利用をお願いします。
東区	託麻	7月 5日(金)	午後2時	託麻公民館 ホール
	秋津	6月 7日(金)	午後7時	秋津公民館 ホール
西区	東部	6月 6日(木)	午後7時	東部公民館 ホール
	西部	7月18日(木)	午後7時	西部公民館 大ホール
南区	河内	7月 9日(火)	午後2時	河内公民館 多目的ホール
	花園	7月17日(水)	午後2時	花園公民館 ホール
北区	富合	7月18日(木)	午後2時	富合公民館 研修室
	飽田	6月 3日(月)	午後7時	飽田公民館 洋室B
	天明	7月 9日(火)	午後7時	天明公民館 A会議室
	幸田	6月 4日(火)	午後7時	幸田公民館 A会議室
	城南	6月11日(火)	午後7時	城南公民館 学習室1・2
南区	南部	7月19日(金)	午後2時	南部公民館 B・C会議室
	植木	6月 5日(水)	午後7時	植木文化センター 研修室
	北部	7月10日(水)	午後2時	北部公民館 大会議室
北区	清水	7月11日(木)	午後2時	清水公民館 第1研修室
	龍田	6月12日(水)	午後7時	龍田公民館 ホール

※説明会の時間は約1時間を予定。 ※お住まいの住所に関わらず、どの会場でも参加いただけます。(予約不要)  
なお、本庁舎に関する詳しい内容については、6月より市ホームページ上に動画を公開する予定ですので、ぜひご覧ください。

(政策企画課 ☎096-328-2035)

## くまもとさん 132



作: 桜田幸子

## ドンドン 市長と語る!

3月15日に「市長とドンドン語ろう! with大学生」を開催し、熊本大学の学生の皆さんと本市の未来やまちづくりについて語り合いました。

### 教職員に求めることについて



私は現在、教育学部に在籍しており、将来は熊本市で教職員になりたいと思っています。市長は、教職員にどのようなことを求めていますか。

教職員の皆さんに求めることは、子どもたちの可能性をどれだけ引き出せるか、また、多様な選択肢をどれだけ与えられるか、希望をもって未来に向かう意欲を持たせられるかということです。カリキュラムに沿って知識を教えると同時に、人間力を高めることを教えることができる先生がたくさんいたら熊本の教育は非常に良くなると思っています。



### 熊本地震の避難所対応について



私は、旅行中に北海道胆振東部地震に遭遇し、避難所に行ったところ外国人と観光客はお断りと言われて困ったのですが、熊本地震当時の市民以外への対応や今後の対策などはありますか。

熊本地震の際は、各避難所で外国人や観光客の受入を行いました。国際交流会館では、避難所を開設するとともに、外国人観光客へは帰国支援、イスラム教の方へはハラールに対応した食事の提供や礼拝場を設けるなど民間団体と連携して対応しました。現在は、外国人に正確な情報を伝えるために英語、中国語、韓国語、やさしい日本語でメール配信を行う「災害時等外国人支援システム」の運用を開始し、災害発生時等に情報を多言語化して発信する「災害多言語支援センター」の整備も進めています。今後も災害に備え、さらなる支援の充実を図ってまいります。

### 農業従事者を増やすための支援等について



私は農業に興味があり、熊本にとって大事な産業だと思っています。例えばまちづくりセンター等の協力で、小学校の授業を通して地元の農家の方と農業を体験できる仕組みができれば、若い世代に将来農業に就きたいという気持ちが芽生えると思いますが、そのような支援はありますか。

本市では農業経営の基盤強化に加え、小学生への総合的な学習の時間を活用した農業体験や田崎市場で流通を学ぶプログラムの実施など、若い世代への担い手育成にも取り組んでいます。いただいたアイデアを参考に、今後も農業への理解と関心を高め、担い手育成や農業の発展に繋げてまいります。